

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 13 No. 29 TOTAL 548 平成23年3月7日 第566回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30
 [例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アパローム紀の国
 [事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)
 TEL073-435-3470/FAX073-435-3472
 E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/田原サヨ子 [会報委員]
 副会長/安宅 浩一 ○北畑 充香 ○石垣 秀幸
 幹事/野村 伸 石橋暎禧子 三木 民生



2010-11年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

R1会長 レイ・クリンギンスミス

2010-11年度
アゼリアロータリーのテーマ

『行動するロータリアンを目指そう』

〈本日の例会〉

- 第566回例会 3月7日(月)
- ☆ 誕生会
- ☆ 外部卓話 「源氏物語における女の生き方」
(有)オフィス ほづみ 村田溥積様

〈次回のお知らせ〉

- 第567回例会 3月14日(月)
- ☆ 内部卓話
「自己紹介 & 近頃、考える事」
三木民生 会員

〈前回の例会記録〉

- ローターソング R-O-T-A-R-Y
- ゲスト紹介 (社)和歌山県聴覚障害者協会
 会長 馬場 正義様
 副会長 福田美枝子様
 手話通訳 小藪恵美子様
 エース証券和歌山支店
 支店長 中尾 八朗様
 足立法律事務所 足立聖子様
- ビジター紹介
- 出席報告 会員数43名
 本日の出席 (2/28) 28/41名 68.29%
 前々回修正出席 (2/16) 21/39名 53.84%
- メイクアップ 役員及びクラブ行事へ 1名

〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	3月7日(月)	クラブフォーラム「識字率向上月間」
和歌山	3月8日(火)	「学園の歴史と今後の取り組み」
和歌山サンライズ	3月8日(火)	
和歌山東南	3月9日(水)	IDM発表③
和歌山西	3月9日(水)	ガバナー補佐をお招きして(第4回ご家族参加Day?)
和歌山東	3月10日(木)	卓話「成年後見制度について」
和歌山城南	3月10日(木)	外部卓話「〈植樹祭〉とはどんな祭り?」
和歌山南	3月11日(金)	卓話「海外研修に参加させて頂いて」
和歌山中	3月11日(金)	第3回 I.D.M.発表

会長報告



会長 田原サヨ子

3月1日、本社へ栄転なさる福西さん長い間ありがとうございました。健康に気をつけて頑張ってください。次にこられる中尾さん、引き続きよろしくお願いたします。

4月より当クラブに入会される足立聖子さん、本日はようこそおいで下さいました。どうぞ、ごゆっくりなさってください。

次に、平成22年12月25日、社会福祉法人日本ライトハウスより、盲導犬育成40周年にあたり、我がクラブへ感謝状が届きました。ここに御披露いたします。事務局へ飾っておりますので、ぜひご覧ください。



「ひな祭り」

古代中国では、旧暦3月3日に川に入り、身を清める風習が伝来、さらに平安時代の貴族の遊び「ひいな遊び」が合わさり、ひな祭りの原型が出来たと考えられます。「流しびな」の風習はその名残。旧暦のこの頃は干満の差が大きい大潮の頃で、水辺でみそぎをする信仰と、春うららの陽気での遊びが一体となったものです。段飾りのひな人形が普及したのは江戸時代中期から。「ひなあられ」「ひし餅」の三色の緑(よもぎ)は健康、赤(桃花)は魔よけ、白(雪)は清浄の意味。「雪が溶け、草が芽生え、花が咲く」の意味も含まれます。

幹事報告



幹事 野村 伸

- ・2012-13年度R財団国際親善奨学生募集の案内ボックスにて配布しております。
- ・地区国際大会ジャパンナイトの案内が届いています。米国ニューオーリンズで5月21日開催です。詳細は追ってご連絡致します。

委員会報告

◎親睦活動委員会

栗山 久 会員



アゼリア会を致します詳細は皆様にファックスさせていただいた通りです。ご出席よろしくお願いたします。

◎社会奉仕委員会

松本良二 会員

聴覚障害者への支援事業が3月12日(土)に迫っているのに案内が遅くなり誠に申し分けありません。あらためて案内申し上げます。3月12日(土)13:30



～15:00和歌山ビッグ愛6階(602,603)にて(社)和歌山県聴覚障害者協会への支援事業を行います「手話の歴史」を知り手話落語を聞き、理解を深めたいと思います。

メンバーはもちろん、廻りの方にお声掛けをお願いします。

◎ゴルフ同好会

貴志孝生会員



- 1、3月24日和歌山東南RC40周年記念ゴルフコンペは4名の参加登録を事務局から手配して頂きました。
- 2、4月18日和歌山南RC創立50周年記念ゴルフコンペは締め切り3月2日になっております。本日中にお返事いただけたら幸いです。

◎転勤に伴う退会の挨拶

福西正人会員



東谷の後任としてアゼリアRCに入会させていただいてちょうど3年、やっと慣れた頃に、大阪本社への転勤となりました。田端年度では親睦委員会、山田年度では青少年育成委員長、田原年度では職業奉仕理事をさせていただきましたが、道半ばでの退会となり心苦しく思っております。

皆様には大変お世話になり、三年間楽しい時間を過ごさせていただきましたこと、心より感謝申し上げます。和歌山に来た折には、温かく迎えてください。本当にお世話になりました。有難うございました。

◎入会の挨拶

中尾八朗会員



この度、彦根支店より和歌山支店への転勤に伴い、福西の後任といたしまして、アゼリアRCに入会させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

外部卓話

「ろうあ者について」

社団法人 和歌山県聴覚障害者協会
会長 馬場正義 様

【はじめに】

はじめに、昨年の5月に開かれた、アゼリアロータリークラブのご協力のもとで映画「ゆずり葉」上映会とろう者が演ずる「華岡青洲」の劇を披露させていただき、ありがとうございました。



続いて、2011年3月12日、和歌山ビッグ愛で手話についてのミニ講演と手話落語も披露させていただくことになっています。このような県民の皆さんへのろう者の問題の理解と手話の普及にご協力をいただいていることに、心から深く感謝申し上げます。

【聴覚障害者数について】

日本で聴覚障害の身体障害者手帳を交付されている人は約36万人です。

さて、和歌山県では主に聴覚、平衡機能障害の身体障害者手帳所持者の人数は、下記のとおりです。等級が低いほど、障害は重くなります。

1級 448人、2級 1214人、3級 725人、4級 961人、5級 39人、6級 2863人、合計 6250人です。
47都道府県協会を有する組織の財団法人全日本ろうあ連盟の会員数は約24000人です。
当協会の会員数は、現在315人です。

【聴覚障害とは】

■「聴覚障害者」

聴覚障害者にはろう者、軽度難聴から高度難聴などの難聴者、成長してから聴覚を失った中途失聴者が含まれている。

■「ろう者・ろうあ者」 1級、2級といった私達のようにほとんど聞こえません。

音の大きさを例えると、電車が通る時のガード下の音が聞こえないレベルの人もいます。

また上手く「発音が出きない」という人も含まれ、手話を会話手段としています。

ろう学校で育った人、大人になってもろう集団に関わってきたろう者なら、みんな手話でコミュニケーションをとっています。

【昔のろう者の様子】

■結婚の制限…

・ろう者同士で結婚は許し難いという考え方が親や社会にあった

・ろう者同士で結婚する場合、本人の同意なしに避妊手術を行うこともあった

・子どもが生れると親と縁切られる

■ろう学校…

・発音や口の動きを読み取る訓練が中心の教育（時には手や腕を縛られたことも）

・先生たちは手話を使わず、口話で授業のため内容が分かりにくい

・手話は禁じられていた

・教科書は、2年～5年遅れての授業

・卒業式や始業式の校長のスピーチがまったく分からない

・先生が「社会人になると我慢して可愛がってもらおう身になれ！」生徒に指導

■社会…

・1970年代前までのろう者の職域はかなり限られていた（縫製、木工、印刷関係等で、健聴者より安い賃金と不安定な身分）

・手話は偏見があり、ろう者同士でも、人の前ではできなかった

・ろう者は「準禁治産者」と法律に明記され、不利益を被った

【日常生活の中で聴覚障害者が苦悩している事】

■病院…

・医者と患者とのコミュニケーションがうまくとれず、亡くなったケース

・患者は詳細な内容が分からない

・名前を呼びだされても分からない（2時間～3時間も待ったことも）

・正しい薬の服用の説明をされても伝わりにくい

■家庭…

・訪問者がわからない

・電話が使えない

・テレビの内容がわからない

・緊急時の対応ができない（災害時や急病など）

・冠婚葬祭でも会話が制限されていてわからない

■地域…

・地域とのコミュニケーションが不足しトラブルを招きやすい

・行事に参加しづらい

・自治会の役員ができない

■学校…

- ・授業についていけないこともある
- ・友だちやクラスの中で孤立することもある
- ・保護者参観日や懇談会に参加しにくい

■職場…

- ・同僚とのコミュニケーション不足で人間関係がうまくつけれない
- ・上司の指示が伝わらずトラブルの原因になる
- ・研修や会議の中味がわからない
- ・自分の実力を発揮しにくい環境となり、低く評価される

■買物…

- ・レジ係が言っていることがわからない
- ・レジ係に求めていることも伝えにくい

■放送…

- ・電車のアナウンスが聞こえなくて行き先が間違ってしまう
- ・交通機関のトラブルアナウンスが聞こえなくて不安

【運動によって展開について】

■権利運動…

これまでのろう者が苦勞したことの克服するため、1960年代後半に「権利を求めた運動」を展開された。

■手話通訳制度…

いつでもどこでも安心して情報・コミュニケーション保障を目指し、手話通訳制度を求めた運動をし、1970年に手話奉仕員養成事業が始まる。

■職業を広げる…

国は身体障害者雇用促進法の改正をすすめ、大手の電機・自動車メーカー、金融機関などにもろう者が採用されるようになった。

■ろう学校で…

手話の重要性を認識し、口話とともに手話も取り入れた教育が広められるようになった。

■差別法撤廃運動…

昨年に鑑賞いただいた映画の「ゆずり葉」でもありましたように薬剤師資格試験を受けたくても法によって出来なかったのです。しかし、全国のろう者団体や手話関係団体、幅広い関係者の粘り強い運動によって、2001年には薬剤師法、医師法、歯科医師法、診療放射線技師法などの国家資格と免許で「耳の聞こえない者、口がきけない者」が絶対的欠格理由が改正され、職業選択の幅が更に広がってきました。

【障害者権利条約についてと求めていること】

■国内法整備…

「手話は言語である」と定義した「障害者権利条約」が2006年12月13日の国連総会において全会一致で採択されました。私たちが日常使用する「手話」を日本語と同じように言語として認知されたことは大きな意味を持ちます。我が国は、同条約に批准するために、まず障害者に関わる既存の法の改正や新法の制定など国内法整備に向けて取り組んでいます。

■社会的モデル…

慈善的、また医学的な部分で社会インフラを整えていましたが、権利条約では、障害ある人、ない人でも誰もが困らない社会作りが必要とされています。

■手話通訳…

・例えば①…手話通訳士という資格はあるが、それは厚生労働省の認定された資格です。手話通訳士の重みを正しく認識してもらいたいです。毎年、試験があり、合格しても病院や行政機関への設置という受皿がなかなかありません。それでは、いつでも、どこでも安心して、コミュニケーションを図れません。

・例えば②…手話だけではなく、聴覚障害といっても聞こえなくなった年齢によってコミュニケーション手段も違ってきます。要約筆記を必要とする方、盲ろう者の場合は指点字や触手話などがあります。

・例えば③…手話通訳が要するのは、ろう者だけではないのです。相手もろう者が話す内容を知るためには手話通訳が必要です。例えば、講演でろう者が講師として話をすると聞き手は何を言っているのかわかりませんね。読取通訳が必要なのです。手話通訳や要約筆記を通してみんなで楽しく時間を過ごすことが出来ます。

手話通訳が必要なのは「ろう者」だからではないということも広めていきたいです。

■ろう者も大変…

聞こえないと社会の中で情報が遮断され、自己実現や正しい選択も出来にくくなります。

ろう教育でもそうですが、口話の猛訓練時代は、社会に合わせるための手段だったのです。

最近、どこへ行っても車いす用トイレやエレベーター、スロープ、手すり等が設置され子ども、妊婦、高齢者や歩行困難の方々にも優しいバリアフリー法が来ています。

しかし、私達のようなろう者や手話通訳等の法的な措置がまだまだです。例えば、どこへ行っても音声だけでなく、手話、文字、光、振動など情報を見る、手、体で感じてわかることを願っています。

■最後に…

障害者権利条約に批准するために国内法整備として現在、国において議論されていますが、私達の要望を反映させるために全国で「We Love コミュニケーションパンフ」普及30万部と署名120万人の運動をしています。

パンフレットは300円ですがお読みいただければ、内容がもっと分かるかなと思います。

また、賛同して頂けるのであれば、署名にご協力お願いします。

余白つぶし

「ひな祭りの由来」

大きな河川も、その源をたずねると、いくつもの小さな流れがあって、そのいくつかの流れが合流して、次第に形をなして遂に一つの大きな流れとなります。歴史の流れも同じで、ひな祭りの源も、いろいろの神事・行事・信仰があって合流したものです。一つに水辺の行事「巳の日祓い」があります。『源氏物語』須磨の巻に、3月の最初の巳の日(上巳の日)にお祓いが行われ、人形を舟に乗せて海の沖合いに流すお話があります。——平安貴族たちは、三月の巳の日に、疫病など流行やすいと言うことで、占い師により無病息災を祈願する行事、人形(ひとかた)・紙・土・草・藁などで簡単な人形(にんぎょう)をつくり、お酒やお供物を添えて、病気や災いを身代わりに背負ってくれますようにと、願いをこめて川や海に流しました。

また一方、そうして貴族たちの風習はこのように農耕時期を前にして農民にも広がって行きました。

そのうちに都の貴族の大人たちの遊びの雛遊が早いうちに貴族の子供たちへと広まりはじめました。子供の『ひいなあそび』の習慣と水辺の行事「巳の日祓い」と一緒になり、3月3日のひな祭りとして定着したのは江戸時代です。

しだいに雛人形は豪華さを増し、部屋に飾っておくものになり、やがて、武士をはじめ一般庶民にも広

まり今に伝わる思い、女の人のいろいろな穢れ・災いの身代わりになる大切な物として人の世の幸せを願っての3月3日の雛祭りの行事となっていました。雛人形は長い時間をかけて女の人が人形によせる心と上巳の祓いとが一体となり形成されたものです。三月三日になぜ女兒のお節句(節供)でひな祭りをするのでしょうか?

雛人形のルーツは中国渡来の「上巳(じょうし)」の節句です。

中国では昔3月3日に水辺にて身を清め、穢れ(けがれ)を祓う習慣がやがて日本にも伝わったもので、桃花節(とうかのせつ)とも言われました。

この「巳の日祓い」をいつからか三月三日として行うようになりました。持統天皇の五年(691年)には上巳を三月三日としている文献があります。こうして三月三日にお雛祭りをするのは、お祓いの行事との関わりのある事を知ることが出来ます。

「曲水の宴」と穢れ(けがれ)を祓う習慣との関り

奈良時代から平安時代にかけて、宮中、貴族の邸宅で行われた遊宴の行事。

三月上巳または桃の節句に、杯を水の流りに浮かべて穢れ儀式としておこなわれました。

遠い昔から、寒い冬も去り、時として二月よりも風も冷たく寒い日がありますが、春をとて楽しく待ち遠しく感じる月初めの巳の日にお祓いをしたことからはじまりました。

源氏物語、須磨の巻にある千年ぐらい前のお話しに出てくる行事で、光源氏が海辺に出て陰陽師(占い師)により祓いをし、紙を切って人の形に作り、人形(ひとかた)、形代(かたしろ)と呼ばれます。その紙で体中をなでて、病気やけがれをこの紙の人形に移して、船に人形を載せて他界に流したとされています。

弥生の月三月は、農耕民族の日本では、田植えに先立ち農耕作業の始まる大切な季節です。農耕を見守っていただける神様をお迎えし、祀ったのです。

農耕作に害となるものを払い、身の穢れも流し浄める大切さが重視され、人間の身代わりの人形(ひとかた)をつくり、それで撫でて、人形に穢れを移して流す行事がありました。

このような3月3日の節供の夕方に川や海へ人形に穢れや災いを負わせる風習は、旧3月3日に行われる鳥取の用瀬(もちがせ)流し雛は有名です。

棧俵(米俵の丸い蓋)に載せた雛が流れて行く様子を我が子の手を取り静かに眺める親子の姿には、流し雛によせる思いが伝わります

では、どうしてお祓いを行ったのでしょうか?

現在でも日本各地の神社で行われる、紙製(ヒトガタ・人形)に自分の名前・年齢を書き身体で撫でたりして、また、それに息を吹きかけたりしますが、それはいずれも自分の災厄、穢れを人形・形代・撫で物へ移すということで、神社では神事を行った後にお焚き上げしたり、川や海へと流します。

では、昔は、体中をなでた人形(撫で物)の変形として作られたものに天児(あまがつ)・婢女(ほうこ)という出産御祝の品としてのお人形があります。

小児誕生の際に白の絹地で綿入れにし人形を作った。それを陰陽師、神主などの祈祷を済ませ、子供の災厄を人形に負わせるとし、子供の枕元に布団を設え置きました。毎日御膳も供えられました。首と胴は綿詰め白絹、頭髪は黒糸、這う子にかたちどってあるので、この呼び名が付きしました。

現代とはだいぶ医療の面・医薬品の面等、事情が異

なり、必然的にどこのお家でも赤ちゃんが病気せず、無事に成長して下さいと、思う親心が天児(あまがつ)・婢女(ほうこ)というお人形に託されているのです。

ちょっと目には、お雛さまに似ているかしら【天児(あまがつ)】の方は天皇様のお子様方に使われ【婢女(ほうこ)】の方は普通のお家で使われました。全部赤ちゃんの病気やら怪我という悪い災いを背負ってもらえると、考えていた訳です。

五・六歳位までの新しい衣装はまず最初に天児(あまがつ)・婢女(ほうこ)に着せ、その後我が子に着せたようです。形から天児(あまがつ)が男雛に、婢女(ほうこ)が女雛になったとの見方もあるようです。

現代は犬の張子が同じ思いで子供の枕元に置かれているのです。

もともと向かって右側が尊い方(高位な方)とする見方に沿った飾り方というのが、昔の内裏様の飾り方で、向かって右が男雛、左が女雛です。現在は雛飾りは反対の並べ方を関東では見られると思います。昭和初年になってご真影(天皇さま、皇后さまのお写真)が向かって左に天皇さま、右に皇后さまを掲げ、それにならっての飾り方に昭和初年、東京雛人形卸商組合の向かって左に男雛、向かって右に女雛を飾るということになり、今日に至っています。

右、左どちらに配置したらよいのかし?と良く聞かれますが、各ご家庭の今までのしきたり等で飾っていただければよろしいようです。



次郎左衛門雛

江戸時代に流行した丸顔に細い眼・小さな唇と鼻

古今雛

現在の雛人形に近い雛

S・A・A 報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

田原サヨ子会員 福西さん、長い間ありがとうございました。和歌山県聴覚障害者協会 会長馬場様、本日はどうぞよろしくお願い致します。

野村 伸会員 足立さん、ようこそ。4月からよろしくお願い致します。福西さん、短い間でしたが色々ありがとうございました。後任の中尾様よろしくお願い致します。

福西正人会員 3月1日付けで本社に転勤になりました。皆様には、3年間でしたが大変お世話になりました。ありがとうございます。

松本良二会員 馬場会長様、福田副会長様、本日の卓話よろしくお願い致します。

掛下吉三会員 福西ちゃん、ご栄転おめでとうございます。離れて行ってもアゼリアみんなの事、忘れないでね!

本日合計額 15,000円 今年度累計額 862,000円

*ロータリー財団

田原サヨ子会員 福西正人会員 掛下吉三会員

本日合計額 6,000円

*米山奨学

田原サヨ子会員 野村 伸会員 掛下吉三会員

福西正人会員

本日合計額 8,000円